

# 輪

新潟大学附属特別支援学校  
学校便り 第507号  
令和6年3月18日発行



## はなむけの言葉

校長 樋口 尚

小学部3名、中学部5名、高等部10名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

皆さんは今、一人一人自分の名前を呼ばれて、卒業証書を受け取りました。名前を呼ばれた時、どんな気持ちがありましたか。うれしかったですか。恥ずかしかったですか。ドキドキしましたか。皆さん一人一人の名前には、すごいパワーが込められているのです。

皆さんが小さい時から、〇〇ちゃんとか、〇〇君、〇〇さんなどと呼ばれ、そのたびに振り向いたり、受け答えしたりしなら、親や友達、周りの人たちと人間関係を築きながら、成長してきました。今まで、名前を呼ばれた回数は、数え切れません。数え切れないほど人に名前を呼ばれ続けてここまで成長してきたのです。

これから中学部や、高等部、そして社会人としてステップアップする卒業生の皆さん。これから始まる新しい生活の中で、もし、心が弱ってしまったときや、何かにチャレンジしようとするときなどに、自分の名前を大きな声で呼んでみてください。恥ずかしかったら、心の中で叫んでみてください。自分の原点である名前を呼ぶことで自尊心がよみがえり、パワーがわいてきます。

そして、皆さん一人一人の名前には、「願い」が込められています。お父さんやお母さんなどが皆さんの成長を願い名前を付けてくれました。

自分の名前に込められた「願い」を感じながら、悲しい時や困った時、うれしい時やがんばる時などに、名前を呼ぶことで、名前は皆さんにパワーを与え、皆さんを応援してくれることでしょう。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。また、これまで当校の教育活動にご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。お子様が、今こうして、立派に成長することができたのは、深い愛情をそそぎ大切に育ててこられたことに他なりません。今日は、ぜひお子様の名前についての「願い」をご家族でお話ししてみたいはいかがでしょうか。



# 1年間を振り返って～各学部主事から～

## 「芽吹く春」

小学部主事 片岡 真弥

今年度、小学部では「生活科」を教育課程の軸に据え、各学級の生活年齢を大切にしながら様々な教育活動を展開しました。遊びを中心としながら笑顔いっぱい学んだ1組、バスや電車を使って行った新しい世界で好奇心いっぱいに目を輝かせた2組、宿泊学習、地域の公共施設や店などの利用、ゴムや風、重さなどの身の回りの事象を試す経験等から自分の世界を更に広げた3組。学部便りの「わくわく」の名前のように、まさに様々な「わくわく」で溢れた1年間になりました。



寒さが本格化した11月に、子供たちが玄関前の花壇に植えたチューリップの球根が今まさに芽吹き、空に向かって真っすぐ伸び始めています。4月から中学部への新しいステージに進む6年生、学年の階段を1つ上る1～5年生、小学部18人の子供たち一人一人の「好奇心」「好き」「可能性」の芽がより一層大きく育っていくことを願い、応援しています。

そして何より、保護者の皆様と共に、お子様の成長を喜び合えた日々感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 「やってみよう」

中学部主事 島山 瞳

「友達とたくさんお話ししたいな!」「今年は社会生活をがんばるぞ!」と、一人一人がそれぞれの「やりたい!」という思いをもって一歩ずつ前に進んできたこの一年。うれしいとき、くじけそうになったとき、どんなときも、みんなの周りには仲間がいて、お互いの存在を力に共にチャレンジし続けてきましたね。結果が出ることばかりでなくても、みなさんがコツコツと取り組み続けられたことが一番うれしいです。



さあ、新しい一年が始まりますね。進級する1年生、2年生のみなさん、令和6年度の中学部をよろしくお願いしますね。4月からは高等部に入学する3年生のみなさん、大きな背中中学部をリードしてくれましたね。新しい環境でも、仲間と共にどんどんチャレンジしてください。フレー フレー みんな!

中学部の子供たちが「やってみよう!」と前向きに取り組むことができたのも、ご家庭での支えがあったからこそだと思います。保護者の皆様、今年度もご支援ご協力いただき大変ありがとうございました。

## 「高等部の1年間を振り返って」

高等部主事 保坂 吉彦

生徒29人全員が「社会で自分らしく生きる人」を目指して、今自分が何を頑張ればよいのかを教師や仲間と共に考えながら学び合ってきました。今年度から始まった国語・数学・情報の教科学習、自己理解を進めながら「働く力」を高めた職業生活、一人一人が役割をもって企画・運営した「高等部体育祭」、国語の学習の成果を発表した「すなやま祭」など、どの場面においても自分事、自分たち事として考え、全力で取り組んできました。周囲の人が感動を覚えるほどの姿を見せてくれる生徒たちを誇りに思っています。もちろん、良いことや上手くいくことばかりではありません。それでも一人だけではなく周囲と前向きにかかわりながら前に進んでいくことは「社会で自分らしく生きる人」を実現するための大切な学習であると捉えています。学校をリードしてきた3年生はいよいよ、それぞれの進路に向かって大きな一歩を踏み出します。今度は実際の社会の中で自分らしく生きるために周囲と前向きにかかわりながら社会人として成長していってくれることを願っています。



保護者の皆様、1年間、多大なるご理解とともに、温かいご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。